

石川県金沢市兼六元町1番1号
一般財団法人 北陸私鉄バス労働会館
理事長 南 高 広

事業報告書

当一般財団法人「北陸私鉄バス労働会館」は北陸地方の私鉄バス産業に働く労働者をはじめ、石川県下の産業ならびに労働に関する知識の啓発・福祉・教養の向上に努めてまいりました。

まず初めに今回の事業報告は（平成26年7月1日から平成27年6月30日）初めての一年間の決算報告となります。（貸借対照表の前年度数値は3か月の分ち決算の数字です。）

従いまして、概算対比となりますので、正味財産増減表では

収入では、15,163,659円昨年と対比致しますと、3.75倍

支出では、15,242,488円昨年と対比致しますと、3.58倍

正味財産増減表では、平成26年度215,832円の減、今年度平成27年度78,829円の減に収まっております。

公益目的収支差額は、今年度は1,309,960円 公益目的収支差額の合計額は、1,715,506円となっており、残額は59,900,674円。完了予定事業年度は、平成70年3月31日を予定いたしております。

労働者の若年層を中心に、広く門徒開け、ホームページや北陸地連の窓口を設け、青年女性部の活動を根底とし一般の方々にも労働者の権利や教育、制度や組合活動を学ぶ機会を作り、労働者としての知識を学んでもらおうと思ってセミナーを年間7回開催してまいりました。

昨年と同額を石川県勤労者体育協会に10万円寄付し、スポーツ交流を通しまして労働者の福利厚生に寄与致しました

今後も当会館としての使命を果たしながら健全な事業として継続するための努力を重ねていきたいと考えております。

努力を重ねていきたいと考えております。

1. 会館運営にあたり、老朽化による修繕など極力経費節減に努めてまいりました。さらに一階テナントの入居募集にあたって来ましたが、まだ入居には至っておらず、継続的に募集していくつもりです。また東日本大震災を契機とする電力供給不足や省エネルギー対策一環として、室内温度を夏は高め（28度）クールビズを実践し、冬は低め（20度）に設定、周知に啓蒙し、環境問題に取り組んでまいりました。
2. 青年女性部員に活動教育として、7回講座を実施し、労働運動と青年女性活動や、今後の労働活動の基礎を教育してきました。

	開催日	講座名	講師名	参加人数
1回	平成26年 7月15日(火)	労働運動と青年女性活動 分散会「青年女性活の活動」	北陸地連書記長 坂本 外喜徳	37名
2回	平成26年 9月12日(金)	平和と憲法	岩淵 正明 弁護士	27名
3回	平成26年11月14日(金)	中級労働講座と組合運動について	北陸会館理事 窪田正尚	22名
4回	平成26年12月12日(金)	公共交通復権に向けて	北陸会館理事 窪田正尚	28名
5回	平成27年 2月10日(火)	北陸新幹線開業後の二次交通の展開について 長期化する安倍自公政権 労働者と政治闘争 15春闘情勢と組織強化	前金沢市超 山出 保 連合石川会長 狩山 久弥 北陸会館理事 南高広	45名
6回	平成27年 1月23日(金)	青年女性に必要なこと～15春闘方針	私鉄総連総合組織局 綱川留美	22名
7回	平成27年 4月15日(水)	育児と家庭の両立について	北陸地連書記次長 山田 洋秋	40名

3. 石川県勤労者体育協会に10万円寄付し、労働者のスポーツ交流を通しまして労働者の福利厚生に寄与致しました。